

会議概要録

開催概要

名 称：第4回 東区自治協議会 第三部会

日 時：平成20年6月10日（火） 午前10時00分～正午

場 所：東区役所分館2階会議室

出席者：委 員

滝澤委員、岡村委員、大河内委員、小川委員

星島委員、小嶋委員、和田（一）委員、駒田委員

（欠席：齋藤委員、鷲津委員）

：事務局

政策企画課、建設課、産業振興室

審議内容

大型店舗の立地規制について

（大型店舗の立地規制に関する法律や制度、これまでの経緯等について小嶋委員から説明）

【意見交換内容】

- ・ 今後、県の条例で義務化される大型店の地域貢献については効果を期待している。
- ・ 規制も大事だが、地域によっては大型店の出店を望んでいるところもある。
- ・ 大型店は災害時には防災の拠点ともなりうるのではないか。
- ・ 大型店の出店には、住民、地元商店、大型店の相互理解が必要である。
- ・ アーケードの設置、補修が商店街のハード面での課題となっている。安全面で不十分でも、整備のための資金がなく、補助を受けることも難しい状況がある。
- ・ 活性化には地域、企業、行政の連携を深めていくことが必要不可欠であり、新制度がどのように機能していくか経過を見たうえで、今後さらに議論を深めていく。

新潟西港周辺の活性化について

（新潟港開港140周年記念事業の概要について和田（一）委員から説明）

【意見交換内容】

- ・ 新潟港開港と題しているが、東区の臨港埠頭は新潟港には含まれていない。また、臨港埠頭の景観は決して良好とは言えない。港について考えていく必要がある。
- ・ 臨港埠頭は全国で唯一の民間所有の港である。行政と民間の関係ではうまくいかなかったことを、地域住民の働きかけで改善していきたい。
- ・ 大都市を見ると、港は市と県が合同で管理している。新潟港もそうすべきである。
- ・ 川辺に屋台を出す、みなと回遊コースを作成する、楽しむという視点を港に与えていくことで活性化していくのではないか。

- ・みなとトンネルを出ると顔の形をした旅館（臨港館）がある。そこを歩いて山の下関門までを散策コースにしてみるのはいかがでしょうか。
- ・みなとランドと山の下市場をつなぎ活性化していくことも研究していきたい。
- ・港に設置されているフェンスは撤去できないのか。景観も悪く、人を遠ざけるだけである。
- ・人が自由に訪れ楽しむことのできる憩いの港を整備すべきである。
- ・次回は(株)リンコーコーポレーションなど港湾関係機関から直接お話を伺ってみたいということに打診をすることになりました。

その他

- ・園芸センターの跡地利用については、地元の4コミュニティ協議会から3名ずつの計12名で協議し、地域の声としてまとめていく。進捗状況は部会で報告する。
- ・じゅんさい池では外来種が増加しており、また、オニバスの繁殖により水面が見えないという状況であるので困っている。

次回の開催について

- ・日時：平成20年7月7日（月） 午後2時00分～
- ・場所：東区役所分館2階会議室